

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公表番号】特表2015-519967(P2015-519967A)

【公表日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-045

【出願番号】特願2015-516254(P2015-516254)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/28 (2006.01)

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/28

A 6 1 B 5/05 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月14日(2016.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

断片的バイオインピーダンス分光学(segmental bioimpedance spectroscopy)(SBIS)により患者の腹膜腔内の流体の体積を測定して、患者の腹膜腔内の流体の限外濾過体積を決定する腹膜腔モニター(PCM)；ならびに

患者の腹膜腔を充填するため、および限外濾過体積が経時的に変化しないか、有意に減少するかまたは有意な速度で減少している場合に、患者の腹膜腔から排液するための、PCMにより制御されるスイッチ

を含む、患者において腹膜透析(PD)を行うために、患者の腹膜腔に、ある体積のPD液を注入するための腹膜透析(PD)システム。

【請求項2】

断片的バイオインピーダンス分光学(SBIS)により患者の腹膜腔内の流体の体積を測定して、患者の腹膜腔内の流体の限外濾過体積を決定する腹膜腔モニター(PCM)；および限外濾過体積が経時的に変化しないか、有意に減少するかまたは有意な速度で減少している場合に、患者の腹膜腔から排液されるべきときを指示するための、PCMにより制御されるアラーム

を含む、患者において腹膜透析(PD)を行うために、患者の腹膜腔に、ある体積のPD液を注入するための腹膜透析(PD)システム。

【請求項3】

スイッチが、ワイヤレス通信により、PCMにより制御される、請求項1記載の腹膜透析(PD)システム。

【請求項4】

患者の腹膜腔内の流体の限外濾過体積が経時的に変化しないか、有意に減少するかまたは有意な速度で減少している場合に、患者の腹膜腔から排液するためスイッチを制御する工程を含む、腹膜透析(PD)システムの使用方法であって、

前記流体の限外濾過体積は、ある体積の腹膜透析液が導入された患者の腹膜腔内の流体の体積を、断片的バイオインピーダンス分光学(segmental bioimpedance spectroscopy)(SBIS)により定期的に測定することにより決定されるものである、腹膜透析(PD)システムの

使用方法。**【請求項 5】**

患者の腹膜腔を、さらなる体積の腹膜透析液で再充填するためにスイッチを制御する工程をさらに含む、請求項 4 記載の方法。